
ながいながい

ささぐれタロー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ながいながい

【Nコード】
N9721D

【作者名】
ささぐれタロー

【あらすじ】
夏。そんなこんなでやってきた。

（前書き）

変な話。

これは、いわゆるお蔵入りです。

自分の中だけにしまつて居たかった物です（笑）

自分が2番目に書いた小説です。

何か、コレを掲載するなんて恥ずかしい（笑）

まあ。このサイトに投稿する処女作なので遠い目（？）でみてくだ
さい（恥）

「春は曙 ようようしろくなりゆく山木は…」
多分、夏が来た。

雨のしんしんとした、ねばっこい匂いの梅雨のあと。
さっぱりした、夏。

午前の空は、青く強く。 入道雲が、上へ上へとびる。
うだるような、夏。

恋が芽生えるような、夏。
そんな、夏。 が来るような。

来ないような。 おれはとっても不思議な気持ちだ。
そんなことを考えてる。

2時間目の国語の時間。 清少納言の枕草子を言っている。
言わされている。

あと、2週間で夏休みだ。
一生に一度の中学2年生の夏だ。

ながいながい

恋が芽生える、夏。

おれにだってスキナヒトは居る。

ただ、それは…その普通じゃない。

そう。 男だ。 おれと同じだ。

ただ、もの凄く可愛いつて言うか綺麗と言うか…

自分がおかしいのではなく、そいつ鳩羽菜瑠はとばまづるが美人だからだ！

とか、自分で納得している。 あくまでおれ、平田泰思ひらただいしはホモじゃない

だいたい、まー（菜瑠）を好きなヒトは他にも山ほど居る。

同じのクラスの山中やまなかだって隣のクラス海藤かいどうだって

…つか考えるおれはやっぱり普通じゃないのかもしれない…

いや、女子だつて好きだし… 普通にみんなが思う可愛いとも思うけど… やっぱりまーが好きだ… うん。やっぱり

なんて凄い考え事をしていると、後ろからやわらかく肩をつかれた。

「しょーくんなに考えとん？ めっちゃアホ面しょーったで」

しょーはまーだけが言うおれのあだ名。

なぜか分らないけどしょーって呼んでる。

昔（転校する前）、仲が良い友達のおだ名だつたと言つてた。

まーは大阪からの転校生（確か、おれらが2年に上がった頃に来た）で、喋りが関西弁だ。

またそーゆーところが可愛いくてっ！ …じゃなくて

やべっ 今の完全にニヤケ顔だ…

「しょーくん。キモイ…」

「まー… そんな露骨に嫌がんな」

「だつてキモインやもん 折角のイケメンがだいなしやでー」

ドキッとした。言葉が詰まった。なに言おうって思った。

そして、まーの微笑がすごいかわいかった…

おれ… 重病かも…

「…まー。俺のどこがイケメンだつっの」

「そう？ おれからみたら結構カッコイインやけど ちゃうかあ？」

こんなあだ名付けられるほど、仲が良いのは。

まーが転校してきたとき、一番に仲良くなった。

それは、自分の一目惚れ。 あんとき勇気だして声かけてよかった

な、とか今でも思う。

「あんな。 まー ヒトに冗談言うときは気をつけんと 後ろ掘ら

れるぞ？」

自分でも吹き出しそうなシモネタだと思う。 恥ずかしい… 噴出し

そう。

「なんそれ？ わけわからんー 後ろ掘られるってどーゆーこつちやねん？」

「いつ… いや、なんでもねーよ！」
照れ声で喋った。 自分。 アホだ…

うだるような、夏。

宿題の多さ！ 気温の高さ！ 部活の多さ！

全部にうだる。 うだつてうだつて茹で焦げる…

折角のまーとの愛を育む時間が、綻びが纏もつれるがな。

…今、おれなんて言った…

なんつー寒いことぬかしてんだおれ。

あー… まーのアホめ。

「おい。 たいし。 ちょーお、来い」

「あー… 何だよ 堤つみ」

一番、逢いたくない人にあつちゃった。

こいつは、おれがまーを好きなことを知りながら

まーに手を出してくるなんちゅー卑屈な奴だ。

あー うつとうしい。

「堤。 五行でまとめろ」

「五行もいらね。

今日、明日部活無い。

午後練な。

それから、まつは渡さねー。

はい。 五行」

「ちよつと待てや。 4行目」

「じゃなー」

「おいっ」って呼び止めることも、メンドイ。

何しろクーラーもない中学校で、動くことすらままならない。

ほら、ほとんどの奴が動いてない。 あり？ 動いてる。

「しゅー なんしとん？ 次、音楽やで？」

「あつ… あ、そっか」

今。 平然と返したな！ よしっ…

心でガッツポーズを取った。
って「よしっ」じゃねーよ。 おれ。

「なんか、しんどい」

「みんな、同じっやっちゅーに」

「からだ動かしたくない」

「なんでやねん」

「からだうごかすとからだがあつくなる」

「言葉がどんどんだらけとるで。 全部ひらがなになっとるやんか」
考えること、だり。

「なー… おれはまーのことすきだよ」

「え なに？ もういつかいゅーて？ 風の音うるそうて聞こえん
ねん」

風め… そう言えば、さつきから風ビュウビュウ吹いてるな。
ちよつとばかしは涼しいか。

「いや。 なんでもね…」

勇気が風に流されるなんてしょっくー
って思ってたのか？ おれ…

梅雨が明けて、さっぱりした、夏。

そうだね。 今年の梅雨ははじめじめてたし。

7月入って、いきなりカラッと明るくなったなー。

今日みたいな日なんて。 まさに晴天の霹靂だな。 意味知らんけど。

なんか、今年の夏はなくなくなりそうな予感…だな。

ながいながい End

（後書き）

どうでしたか？

もう、何か背筋が凍る（笑）

恥ずかしい！ ですね。感想（純）

そう言えば、「山木は」じゃなくて「山際」だったんですねー…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9721d/>

ながいながい

2010年10月11日02時13分発行